

トピックス **ぶらす**

5/26

在京町人会連絡協議会が設立

市と首都圏との経済・文化などの交流を目的として、9町の在京町人会代表2人で組織される、市在京町人会連絡協議会の設立会議が5月26日、東京都の都道府県会館で行われました。会議では、初代会長として関東地区南方町人会の遠藤誠幸さんが選任されました。今後、市出身者の交流や首都圏で開催される物産展にご協力をいただく予定です。



▲設立会議に参加した各地区町人会の代表の皆さん

5/26

相撲の魅力を多くの人に

日本相撲協会時津風部屋の呼び出しとして活躍中で、米山町桜岡出身の長江護さんから、市米山相撲協会に小学生用のまわし60本が贈呈されました。長江さんは「相撲大会ではまわしを借用していると聞いた。米山には丸山権太左衛門という偉大な力士がいたことも含め、相撲の魅力を一人でも多くの人に引き継いでもらいたい」と話していました。



▲市米山相撲協会千葉会長へまわしを渡す長江さん

6/6

解体前の旧消防庁舎を使い救出訓練

近い将来、99%の確率で発生が予想されている宮城県沖地震などの大規模災害に備え、県警広域緊急援助隊が6月6日、旧市消防本部で救出救助訓練を行いました。今回の訓練は、市が解体予定の公共施設を訓練施設として提供したことによって実現したもので、機械を使って壁の切断や扉を破壊しての進入など、本格的な訓練が実施されました。



▲油圧式カッターでコンクリートの壁を切断する隊員

6/7~8

登米市民の力作が一堂に

第2回登米市民文化祭「展示発表の部」(市文化協会主催)が6月7、8日の両日、中田生涯学習センターで開催されました。展示された作品は、文化協会や老人クラブ連合会の会員、迫養護学校の児童生徒らによる盆栽、陶芸、華道、絵画、書道、写真などの力作450点。そのほか、消防署コーナーや、はっとななどの地域食材の販売も行われました。



▲卓越した作品がたくさん展示された市民文化祭

親子で楽しく仲間づくり

津山子育て支援センターでぼんぼこ広場開設

津山子育て支援センターで、これまでの放課後児童学童保育に加え、新たに育児支援事業「ぼんぼこ広場」が始まりました。この事業は、保育所や幼稚園に入所していない0歳から就学前の子どもとその保護者を対象に、多くの事業を通して一緒に楽しい時間を過ごしなが、仲間づくりや情報交換の場として活用していただくため、毎週水曜日の午前10時~11時30分まで開催しています。初日となった6月4日は、親子16組が参加し、リズム遊びや紙芝居などで楽しい時間を過ごしました。



▲音楽に合わせて、親子で一緒に楽しくリズム遊びをしました

世界のプロの技に学ぶ

石越に福原愛選手から卓球台が寄贈

石越体育センターで5月28日、北京五輪卓球日本代表の福原愛選手の母親、福原千代さんと専属コーチ章彼琳さんが訪れ、卓球の指導が行われました。これは、千代さんが石越出身ということから、福原選手から、卓球の普及に役立てて欲しいと卓球台1台とサイン入りラケット4本が寄贈され、紹介を兼ねて2人が訪問したものです。当日は、石越小の卓球クラブ員や卓球愛好会員など約40人が参加し、プロの技に驚きながら、ラケットの握り方や基礎などの指導を受け、ラリーを通して楽しく学びました。



▲緊張しながら、福原さんから握り方の指導を受ける児童たち

山里に響く賛美歌と祈り

東和でキリシタンの里まつり

東和キリシタンの里まつりが6月1日、東和綱木農村公園を主会場に開催されました。この祭りは、キリシタンの遺跡文化や自然を活用した地域づくりを目的に、同実行委員会が毎年開催しているもので、今年で25回目となります。キリシタン殉教者が眠る海無沢の塚で行われた青空ミサでは、市内外から信者をはじめたくさんの方が訪れ、聖書の朗読や賛美歌とともに祈りをささげ、殉教者の霊を慰めました。公園内では、地場産品の即売、田舎料理のコーナーなどが設けられ、会場は終始にぎわっていました。



▲キリシタン殉教者をしのび、聖書の朗読をささげる参加者